

平成25年〇〇月〇〇日

(業界団体名)
会員企業 代表者 各位

(業界団体名)
会長 〇〇 〇〇

賞味期限の延長見直し等の実態調査への協力依頼について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃は弊(業界団体名)の活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことにつきまして、改めて御礼申し上げます。

さて、標記の件、食品ロス(まだ食べられる食品の廃棄)削減に向けて、「食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム」(事務局:流通経済研究所)では、フードチェーンに関連する食品製造業・卸売業・小売業の各業界団体から推薦された企業が参加し、商慣習の実態について情報交換するとともに、取組むべき課題を検討しております。平成25年3月には平成24年度の活動成果として「中間とりまとめ」(別紙1)を取りまとめ、今後の取組内容として5項目をあげ、平成25年度以降に順次取組を進め、食品業界全体に普及推進していくことを決定しました。

つきまして、この中間とりまとめに関連して、賞味期限の見直し・延長への取り組みや、賞味期限の年月表示化への取り組みについての実態調査を実施したく存じます。本調査へのご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 賞味期限の延長見直しの実態調査への協力依頼について

今回の「食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム」中間報告においては、ワーキングチームとして賞味期限の延長見直しの進捗状況を把握して、公表することとされています。この取り組みは、食品ロス削減に対するメーカーの取り組みを示すという意味で大変重要です。

会員企業におかれましては、平成21年1月以降(平成20年12月の食品ロス削減に向けた検討会報告以降)の賞味期限延長の取り組み(今後の予定を含む)を、別紙2の様式によって、平成20年〇〇月〇〇日までに(業界団体名)事務局までe-mail(宛先:〇〇〇)、もしくはFAX(〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)にてご報告願います。

なお対象は、小売業向け商品です。業務用商品等を除いてご記入ください。

なお、いただいた報告内容のうち、個別企業名および商品名は一切公表致しませんので、ご協力よろしくお願い致します。

2. 賞味期限の年月表示の推進実態調査

今回の「食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム」においては、ワーキングチームとしてはワーキングとして年月表示の進捗状況を把握して、公表することとされています。

会員企業におかれましては、平成 21 年 1 月以降（平成 20 年 12 月の食品ロス削減に向けた検討会報告以降）の賞味期限を年月表示にしている状況を、別紙 3の様式によって、平成〇〇年〇〇月〇〇日までに（業界団体名）事務局まで e-mail（宛先：〇〇〇）、もしくは F A X（〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇）にてご報告願います。

なお、賞味期限の延長見直しと同様に、いただいた報告内容のうち、個別企業名および商品名は一切公表致しませんので、ご協力よろしくお願い致します。

なお対象は、小売業向け商品です。業務用商品等を除いてご記入ください。

以上